

各部の主要施策紹介

各部ごとに行っている西条市の重要施策について紹介します。また、市の施策と関係する国・県の事業などがあればあわせて紹介します。

No.1 市民安全部

危機管理課・災害予防課



市民安全部長
國田 卓二

安全・安心なまちづくりをめざします

市民安全部は平成18年4月に新設され、防災、治安、交通施策業務および災害対策業務を統合した部署として、地域防災力の向上を図り、「安全で安心して暮らせるまちづくり」に全力をあげて取り組んでいます。

西条市のめざす防災対策の基本は、「自分の命は自分で守る」「近隣の人と助け合って災害に立ち向かう」ということを念頭に、①市民全員が参加し、市民が主役で防災に取り組む②各地域の災害に弱い人が助かる仕組みを市民がつくる③地域の災害文化などをみんなで共有する④これらを末永く後世に伝え、災害に強い地域社会をつくるといった点に重点を置いています。

【自主防災組織の結成】

「自助」「共助」の考え方から、地



▶ 圖上訓練の様子

【実践防災計画】

①防災知識の普及・啓発

今後30年以内に起こる確率が50%と予想される南海地震等の大規模災害に備えるため、震度分布予測図や津波浸水予測図、河川の浸水予測図などを作成するとともに、防災マップの全世帯配布やホームページ等を通じて防災情報を提供するなど、防災知識の普及・啓發を行なっています。

④12歳教育

12歳という吸収力のある年代において、しっかりととした防災教育を行ない、将来の防災の担い手を育成するため、子どもサミットやタウンウォッキングなどの防災教育プログラムを教育委員会とともに取り組んでいます。

②地域防災地図作成会（市全域）
地域の身近な防災地図づくり（図上訓練）を通じて、避難所の位置や避難ルート等の確認をしたり、地域固有の防災問題等に関する認識を高めたりして、地域の防災力の向上に努めています。

⑤木製都市構想

地元産木材の利用による都市と森の循環的共存を考え、木製ダムの調査研究事業、木製避難所備蓄事業、流木処理事業や間伐の促進等により、水を育てる山を再生・努めています。

③「ミニユーティーネットワーク」構築
「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域防災のための活動は、地域防災力を高めるだけでなく、安全で住みよい地域づくりを進める視点からも重要であり、コミュニティ活動の核となるべきものです。獅子舞、だんじりなどの「まつり」を一つの核として、地域ぐるみで助け合うネットワークを推進しています。

また、自主防災組織への資機材貸与や防災士養成講座なども開催し、意識と知識、能力の向上に努めています。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域防災のための活動は、地域防災力を高めるだけでなく、安全で住みよい地域づくりを進める視点からも重要であり、コミュニティ活動の核となるべきものです。獅子舞、だんじりなどの「まつり」を一つの核として、地域ぐるみで助け合うネットワークを推進しています。

【交通と治安】

交通安全については、交通事故防止に努めるため100名の交通指導員による街頭指導や横断旗の設置、高齢者交通安全アドバイザーによる70歳から89歳の高齢者宅への訪問活動を実施しています。治安については、セーフティーパトロール隊の巡視活動による少年非行防止、また自治会等が管理している防犯灯の設置・管理費用の一部を補助し、地域の防犯に努めており、住みよい地域づくりに取り組んでいます。

保全し、災害に強い森づくりに取り組みます。

【災害に強いまちづくり】

総合防災訓練の実施、雨量計や量水標の設置、避難所看板の設置、孤立地区対策等に取り組んでおり、市民パワーによる減災と、防災力の強化をめざしています。